

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市泉総合運動場・仙台市泉海洋センター・仙台市北中山コミュニティグラウンド
2	指定管理者	公益財団法人仙台市スポーツ振興事業団
3	指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日
4	施設の利用状況	<p>《利用者数》 391,095人（前年度比96.0%） ※泉体育館が床張替えのため平成31年1～3月まで休館。 平成29年度 407,545人 平成28年度 367,618人 平成27年度 413,608人</p> <p>《事業》 ・定期型・通年型スポーツ教室：ヨガ等のフィットネス系とテニスや卓球などの球技系を開催。 ・スポーツイベント：ベガルタ仙台親子サッカー教室、ローズガーデン杯サッカー大会、泉海洋センター杯ミニバスケットボール大会などを開催。</p>
5	収支の状況	<p>《費用》 ()は前年度決算額</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定管理者に支払った費用 175,540千円 (173,278千円) その他市が負担した費用 28,381千円 (28,198千円) <p>《収入》</p> <ul style="list-style-type: none"> 使用料収入 43,799千円 (49,538千円) その他収入 1,832千円 (2,556千円)
6	利用者の声	<p>《実施状況》 平成30年10月1日～21日までスポーツ施設利用者アンケートを実施した。</p>

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	施設の設置目的に基づいた運営方針が確立されており、職員の理解のもとに、施設運営が行われている。また、障害のある成人の方を対象とした通所施設と共催でスポーツ大会を実施することで、障害のある方と地域社会との交流の機会を創出した。また、スポーツ指導員を無償で地域の学校や市民センターに派遣することで、地域のスポーツ振興に寄与しており、模範的な取り組みと言える。	27/24
II 施設の運営管理体制	職員の配置及び開館状況は事業計画に相違なく、経理も適切に処理されている。また、事故防止に向けた体制を構築し、安全に対する職員間の意識の浸透が概ね図られている。	30/30
III 施設・設備の維持管理	建物の内外及び設備について、安全の確保がなされ、利用者が快適に利用できるような状態を保持している。	23/23
IV サービスの質の向上	職員に対する接遇研修を行い、利用者が気持ちよく施設を利用できるような努力をしており、平成30年度に実施した利用者アンケートでは、概ね満足していただいている結果を得ている。	28/28
V 施設固有の基準	協定書及び事業計画書のとおり、スポーツ教室等の自主事業を積極的に行い、市民のスポーツ振興に大きく寄与した。プールの運営については、利用者の安全性が確保されている。	4/4

三 その他特に評価すべき優れた取組み

(指定管理者の優れた取組みを評価する 加点要素)

評価すべき取組み	評価すべき理由
なし	なし
加点評価	
—	

四 評価総括

《指定管理者（公益財団法人仙台市スポーツ振興事業団）による自己評価》	
<p>これまで培ってきた豊富なスポーツ施設の運営経験を生かし、安全安心に施設が利用できるよう、職員による日常点検や専門業者による保守点検を実施し不具合の早期発見に努めました。また、消防設備点検や建築設備点検、受水槽の清掃点検なども行い、法令を遵守した施設運営に取り組みました。</p> <p>施設利用団体との会合や利用者アンケートなどで収集した情報をもとに、施設設備の改善や利用者サービスの向上に努めました。剣道場の眩しさを低減のためブラインドを設置したり、貸出用ニュースポーツ用品の修理や補充を行いました。また、北中山コミュニティグラウンドに防音壁を設置し、ナイター照明の角度点検等を実施するなど、地域住民の方のご要望にもお応えしました。</p> <p>自主事業では体育館やグラウンド、庭球場、武道館等の総合運動施設をフルに活用し多種多様なスポーツ教室を開催しました。仙台市大倉キャンプ場を使用したアウトドアイベント「わんぱくデイキャンプ」では、グリルを使った直火のバーベキューやダム湖でのカヌーなど、日頃、街中ではできない体験をしていただきました。</p> <p>栄養士による健康セミナーでは、高齢者や成長期の子どもの栄養補給の大切さや適切な水分補給による熱中症予防などをテーマに延べ140人の方に受講していただきました。特に熱中症予防については、記録的な猛暑日が続きましたので、非常にタイムリーなテーマであったと評価しております。</p>	
《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>施設の設置目的に基づいた運営方針が明確に示されており、職員全体として質の高いサービスの提供と業務の効率化、経費節減に努めている。また、障害のある成人の方を対象とした通所施設との共催でスポーツ大会を実施することで、障害のある方と地域社会との交流の機会を創出した。また、スポーツ指導員を無償で地域の学校や市民センターに派遣することで、地域のスポーツ振興に寄与しており、模範的な取り組みと言える。</p> <p>施設の運営管理体制については、職員の配置及び開館状況は事業計画に相違なく、経理も適切に処理されており、事故防止に向けた体制を構築し、安全に対する職員間の意識の浸透が概ね図られている。</p> <p>施設設備の維持管理については、建物の内外及び設備について、安全の確保がなされ、利用者が快適に利用できるような状態を保持している。</p> <p>サービスの質の向上については、様々なスポーツ教室を開催するなど、市民のスポーツ振興及び普及に寄与している。</p>	S

◎ 評価担当課（施設所管課）：文化観光局文化スポーツ部スポーツ振興課